

Access Report

2018年 7月 28日号
アクセス教育情報センター

目次

学校情報	公開模試情報	教育情報	教育情報	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・獨協中 ・北豊島中 ・浦和ルーテル ・自由学園 	<ul style="list-style-type: none"> ・四谷大塚模試7月 ・7月三模試 	<ul style="list-style-type: none"> ・早稲田大学 ・早大次期総長 ・東京大学 ・夙川学院 	<ul style="list-style-type: none"> ・18歳人口激減 	<ul style="list-style-type: none"> ・名言・迷言・冥言 ・君が代不起立

学校情報

北豊島中 塾対象説明会(2018年6月14日)



1) 校長挨拶 河村先生

4月から校長に。全ての教職員が生徒のために。

社会が大きく変化する状況の中で一人ひとりの生徒を伸ばす。

北豊島の生徒の笑顔が大好き。

教室を移動する際、生徒の大きな歌声が聞こえる。

校長になる前まで授業を持っていたので、顔を見ると生徒が声をかけてくれる。

朝礼などで生徒の前で話した話の評価をしてくれる。

生徒がいろいろなことに一生懸命取り組む姿を見ると、応援したくなる。

6年間を基礎段階、応用段階、発展段階の3つの段階に分けている。

基礎段階(中1、中2)

基礎学力の習得を目指す。そのためには、嫌い、苦手なことにも向き合う姿勢が大事。

学ぶ、耐える力をつけ、人としての力をつける。

応用段階(中3、高1)

人として女性としていかに生きるかを考える。

高1では中入生と高入生が一緒のクラスになる。

高校から特進コース、総合コース、国際英語コースに別れる。

国際英語コースは新しいシステムの導入に取り組んでいる。

真のリベラルアーツを学習する環境づくりを行う。

発展段階(高2、高3)

生徒一人ひとりの志望に沿うように対応する。

その生徒と合う先生が個別指導をすることも。

全ての教職員は生徒一人ひとりのために存在する。

他校では生徒と話をしていないで仕事をしたらと言われるような場面でも、北豊島では生徒と話をするのが教員の仕事という理解ができています。

北豊島は教員が生徒のために時間を割いていて、生徒一人ひとりと向き合っている。



2) 国際英語コースの改革について 改革委員長 佐藤先生

1. 北豊島の英語教育

① 中学…英語の土台となる学習で耳を鍛える。

- ・英語8時間…日本人教員5時間、ネイティブ3時間
- ・中1、中2…那須イングリッシュキャンプ(2泊3日)
- ・中3…海外語学研修(9日間・現在はカナダに)
- ・オーストラリア短期留学…希望者対象で7日間。中2から参加が可能。約10名が参加。中2も2

名が参加。

②高校…国際英語コースの抜本的な改革

- ・UPAA(海外協定大学推薦制度)の導入…第一志望で進学が可能に。
- ・eラーニング「College Pathway」の活用(2017年から)…クラウド上で行える英語学習システム。普段の学習内容だけでなくさまざまなコンテンツが含まれている。
- ・モーニングレッスンのカリキュラム改訂(2018年から)…8:00~8:15の間。高1は日常生活の会話を。高2は英語と日本語のニュアンスの違い、社会・文化の違いを通して。高3は身近なニュースを取り上げ、自分がどう感じたかを英語で発信する。
- ・各種語学研修の充実…オーストラリア(1週間)、イギリス(3週間)、カナダ(3学期の間)。カナダのターム研修はイギリスの3週間研修より人気が高く、募集10名のところ20名近い希望者が。参加者は帰国後に、全生徒の前で研修の報告をプレゼンする。

2. 国際英語コースの抜本的改革

国際英語コースは日本人とネイティブの二人担任制。

①ディプロマポリシー(卒業時の目標)を明確に

- ・CEFR「B2」レベルの英語力が目標
現状は英検準1級が3名。英検2級では満足しない。
徹底した新型英語力の育成を行う。
- ・Identityを持った国際人の育成
日本人としての教養+国際的視野に立った教養を身につける。
在校生にも国際経験ある生徒が増えている。
- ・卒業後の進路(国内大学+海外大学)を実現する
海外協定大学推薦制度の活用(2017年度生から)

②カリキュラムポリシーとしてのリベラルアーツ(教養)重視

- ・クロスカリキュラムとヒドウンカリキュラム
日本人とネイティブの二人担任制。
複数教科の連携(理+社、英+国など)。
モーニングレッスン(毎朝15分間のネイティブによる特別授業×3年間)
特別授業(講演、校外授業、ディスカッション大会への参加など)。
eラーニング「College Pathway」の活用
ポートフォリオの活用…単なる大学入試のためのツールとしてではなく。北豊島としての活用方法を検討している。
日本の伝統文化(茶道、華道、書道など)への理解。
 - ・学年を超えた習熟度別授業
英会話やTOEIC対策など、3学年の生徒が混じって自分のレベルにあった授業が受けられる。
- ### ③アドミッションポリシー
- ・英語に強い興味・関心を持った生徒
英検3級以上(現在)、英検準2級取得者を対象とする。

1クラス25名の少人数制。入学希望者が増えるようであれば2クラスに。
 英語中心としながら、幅広く学ぼうという姿勢のある生徒。
 帰国生入試の充実・・・募集人数枠の増加を検討中。
 AO入試の導入を検討中。

- ・国際英語コースのイベントの充実
 - 公立中学校生徒対象の英語スピーチコンテストの実施。
 - その他のイベント(説明会、オープンキャンパス)の実施。

3. UPAA(海外協定大学推薦制度)

イギリス、アメリカの名門20大学への推薦入学制度。
 イギリスの10大学はすべて国立大学。
 アメリカの10大学は私立大学と州立大学。

①推薦制度内容

- ・北豊島の高校3年間の評定平均が使える。
 - ・願書は各大学共通で4大学まで出願出来る。
 - ・個人で出願するよりはるかに出願しやすい。
- アメリカの大学はTOEFLのスコアは不要。
 イギリスの大学はILSの受験が必要。
- ・年内(11月～12月)に合格通知を取得でき、翌年3月末まで有効なので、国内大学との併願が可能。

②2017年度生結果

2名がUPAAを利用。2名とも出願した4大学に合格。進学はしなかった。
 高1生の中には本気で進学を考えている生徒がいる。
 国際英語コースの生徒は、現高1から全員がUPAAを利用する方向で検討している。

③海外大学留学説明会の実施



協定大学の担当者を招いて6月1日に実施。英国から3大学、米国から3大学の6大学の担当者が来校。50名近い生徒が説明会に参加。

各大学がそれぞれの大学の内容について英語でプレゼン。途中のジョークに生徒から笑いが起きる。

説明会後には生徒が興味のある大学を囲んで質問する姿も。

説明会終了後、6大学の担当者と北豊島の教員との懇談会を行う。

米国の大学はリベラルアーツ重視の説明内容で、大学は教養を教えるところという姿勢が感じられ

た。

日本の大学は専門学校的な大学が増えているのではないか。

北豊島としても大学入試に向けシステムを変えるだけでなく、教員の考え方・姿勢を変えていかなければと思っている。ファシリテーターになれるように。

3) 新任教員から見た北豊島 石田先生

2年目。高校担当。

自分も中高は女子校。女子校の自分を出しやすいというメリットはわかっている。

北豊島は生徒と先生の距離がとても近いと感じる。

生徒は「こんなことをやったから見て欲しい」という気持ちを持っている。その気持ちを他の先生と共有している。

年齢が近いこともあり、できるだけ生徒と一緒に過ごすことを心がけている。先生からの目線ではなく生徒の目線で見ようとしている。

「College Pathway」は、教員も希望すれば登録して利用できる。自分もやってみることで、共通の話題で生徒に声かけができる。毎週、ランキングが出るので、現在、ある生徒とランキングを競っている。

生徒は純粹で素直。やりたいけどどうしたらよいかわからない生徒もいる。

英語で躓いている生徒に中1の復習から付き合っている。

授業は机間巡視やペアワーク、グループワークを多く取り入れている。それにより生徒のつまづきがわかりやすくなると共に、他の生徒と話すことで発信を増やすことも出来る。

HRでボランティアの参加を募った際に、その場での申し出はなかったが、HRの後に参加したいと申し出てくれた生徒がいる。みんなの前で申し出るのは恥ずかしさがあるからだろう。そういう生徒もいる。

教員をすることで自分も成長したいと思っている。



4) 入試について AO室長 塩川先生

塾訪問の際には、いつもキッチンと対応してもらい感謝している。

塾訪問はいろいろな話を聞ける貴重な機会。

中学入試は昨年の9月、10月頃の様子では40名受験、30名入学を見込んでいたが、それがどんどん減っていき、結果的に19名入学の1クラス編成に。

入学してくれた生徒の中には江戸川女子や浦和明の星に合格していながら北豊島に入学してきた生徒もいる。北豊島の教員が一人ひとりの生徒としっかりコミュニケーションを取り、全校生徒の名前と顔が一致しているという点を評価してくれた。

これからも、少人数制と英語教育の充実をしっかりと広報して、北豊島を第一希望となってもらえるようにしていく。

高校は新校舎と女子力をアピールした学校案内で91名が入学。

1. 2019年中学入試について

基本的には2018年と同じ。

一般入試	2月1日	50名	2科	面接
適性検査型	2月1日	20名	問題Ⅰ・問題Ⅱ	面接
英語入試	2月1日	10名	英語・英会話	面接
特待入試1	2月1日午後	20名	2科・4科	面接
特待入試2	2月2日午後	10名	2科・4科	面接
特待入試3	2月3日午後	10名	2科・4科	面接

①一般入試・特待入試

コンセプト…一人ひとりの良いところ(=可能性)を伸ばすという考えから、中学受験で勉強してきた国・算・社・理の力を評価したい。

出題方針…小学校で学習した内容に基づいて、基本となる国語・算数の2科をみる。

国語は5年生までの漢字を中心に、読解は物語文を中心に出题する。小学校の学習内容の確認、反復で対応が可能。

算数は計算問題中心で、一行問題もシンプルな計算問題が中心。

②適性検査型入試

コンセプト…一人ひとりの良いところ(=可能性)を伸ばすという考えから、さまざまな側面から子どもの力を評価したい。

出題方針…小学校で学習した内容に基づいて、思考・判断・表現する力をみる。

与えられた情報から、設定された課題を解決するための分析・考察する力をみる。

身近な事象の中から課題を発見し、それを解決するための方法を考えることを通して、思考・判断する力や自分の意見を適切に表現する力をみる。

問題Ⅰ…文章読解、作文、表現

問題Ⅱ…分析、考察、計算、表現

③英語入試

コンセプト…一人ひとりの良いところ(=可能性)を伸ばすという考えから、さまざまな側面から子どもの力を評価したい。

出題方針…英語を一生懸命に勉強してきた子どもの努力や頑張りを見る。

積極的に英語を活用し、コミュニケーションを取ろうという姿勢をみる。

英語…英検4・5級レベルの英語力(リスニング含む)

英会話…ネイティブスピーカーを含んだ教員との英会話

<http://www.kitatoshima.ed.jp/>

自由学園 塾対象説明会(2018年6月15日)



1) 自由学園の学び 学園長 高橋先生

1921年、大正自由主義教育の流れの中、自分で考える子ども中心の教育を行うために設立される。

文科省の認可を受けず、さまざまな独自の取り組みを行う。現在もそれを継承している。(小・中・高は現在は文部省の認可を受けている)

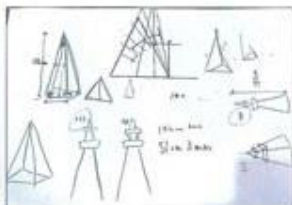
男子部、女子部とも1学年1クラスの少人数教育。

これまで、学校として存続することに真剣に向き合ってくる。

自由学園の教育を理解する多くの保護者に支えられ続けてこられた。

1. 入試から

自由学園男子部の入学試験の1場面から



写真はミライの通信塔の作成。

段ボールとカッター、ガムテープを使って60分で作る。

まず、設計図を作る。その際、与えられた段ボールをいかに有効に使うかを考える。

入学試験では時間をかけてじっくりと一人ひとりを見る。

入学試験から学びがある。

課題に答えるだけでなく、何が問題かを周りの人と協働して解決していく。それができる人が社会を変える人になる。

全く知らない人同士が組んで作る。

入試は人との競争ではなく協力。

入試を終えて「楽しかったね。是非ここに入りたいね」と言う子どもたちがいる。

試験(学び)を通じて友達ができる。

初めて会った人と一緒に課題を解決する経験。自由学園の学校生活の中にはそれが織り込まれている。

2. 自由学園で育みたい力

自分の頭で考え、

課題を自分自身で発見し、

周囲と協力しながら答えを創り出す能力。

→自ら学び、よりよい社会を創る人に。

3. 自由学園の方法＝生活即教育

生活、自然、社会の中から課題を発見し、協働と探求により自分と社会を創るための学びを身につける。

教員はそうした課題と学びをつなげる役割。

探求も一人ではなく協働して。

4. 課題発見と探求の例

1935年頃には木でカメラや時計を自作したことも。

霜柱の研究＝霜柱は上から伸びるのか、地中から伸びるのか

水蒸気が上について伸びるのか、地中の水が押し上げるのかを自然科学グループが6年(1938年～1943年)かけて研究。地中からのびていることを発見する。

当時、雪の研究で有名だった中谷宇吉郎氏に賞賛される。

国連が持続可能な開発目標(SDGs)として17の課題を挙げる。

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 貧困と格差社会 | 2. 食料 |
| 3. 健康 | 4. 教育 |
| 5. ジェンダー | 6. 水 |
| 7. エネルギー | 8. 人間らしい生き方 |
| 9. 技術革新 | 10. 格差の是正 |
| 11. 持続可能なまちづくり | 12. 持続可能な消費と生産 |
| 13. 気候変動 | 14. 海洋資源保護 |
| 15. 生態系保護、持続可能な森林経営 | |
| 16. 平和、正義の実現 | 17. 目標達成に向けた連携 |

個人、企業、教育機関、行政が子の課題に取り組んでいかなければならない。

正解のない課題にどう取り組むのか。

持続的発展のために教育は何をなすべきか。

自由学園は創立以来、生徒をこうした課題に向き合わせてきた。

よい市民のために寮のルールづくりから始まる。

幼稚園から大学部までが畑で作物を作る。

温かいご飯を学校でつくる。

そうした取り組みの中で、自分が自分らしく生きる社会を作れればと思う。

2)男子部の教育 男子部校長 更科先生

自分の頭で考えるということはどの学校でも言うことだと思う。

今日はカリキュラムの+αについて説明を。

SDGs(持続可能な開発目標)を理解するため一流の人に来て話をしてもらう。

先日は東大の北村先生から

・SDGsが提示する世界観

世界のどこにいても当事者である

Public sectorだけでは対処できない

リテラシーを高める

市民の視点

・ビジネスと地域の関係を見直す「きっかけ」に

・2030年の社会に向けた自分(そして企業)の役割

について話をしてもらう。

学業報告会…一般的にはPBLと言われるものだが、相当以前から行っている。日頃の学びを深めて報告する場。

2週間、正規の授業を行わず、探求の学びにあてる。男子部の学業報告会は、さまざまなテーマの中から選択した内容を、学年の枠を超えた学習グループで研究し、発表する。発表方法もステージ発表だけではなく、ポスター展示やパネルディスカッションと多彩。これにより生徒一人ひとりにとって主体的に学ぶ姿勢を育む。

教員もテーマを決めてエントリーする。

昨年は32のテーマが立ち上がる。それぞれが2週間かけて探求のテーマに取り組む。

全員が深い学びができていくかということ、そうではない部分もある。でも多くの生徒が、学びということは本当に楽しいということに気づき、学業報告会後も学び続けている。

LGBTについて取り組んだグループは、マイプロアワード2017の全国優秀賞に選ばれる。彼らは東久留米市役所に呼ばれ、市民向けのLGBTの講座を開いて欲しいと依頼される。

社会という枠に自分を合わせるのではなく、自分を創ることを通じて社会を創る人になって欲しい。

2011年3月に東日本大震災が起きる。すぐに東北に向かい状況を把握し、すぐに支援を開始する。仮設住宅でヒアリングを行なったところ、お年寄りから「縁台が欲しい」ということで、縁台を現地で作ってプレゼントする。

支援の中身もだんだん変わり、今は交流と言う形に。

北上川河口でワカメの養殖を手伝う。養殖用ロープの掃除、種付け、刈り取り、塩蔵(塩漬け)と一緒に、一つひとつ手作業で行う。

今日のお土産の中にそのワカメが入っています。ワカメを1cmくらいに切り、炊きたてのご飯に混ぜると美味しいワカメご飯になります。

教育とは学校で習ったことをすべて忘れた後に残っているところのもの。

中学2年、3年生の時の6月15日の授業を覚えておられますか。私は覚えていません。

学校で何を学んだかと言われて思い出すのは、意外に授業外のことです。

子どもたちの学びは学問を探究したときに身につくのだらうと思います。

体験して、体感して、体得して、体現する。

LGBTのグループの生徒たちも、実際にそういう人たちと話をして感じたことまとめて発表したことが、東久留米市で発表する所までに至る。

自由学園は目の前の生徒の「これをしたい」ということに徹底的に応えていく。

男子部は中1～高3まで198名(留学している生徒が3名)。この198名の「したいこと」に応えるために、一流の人を紹介し、その人たちから生徒が学び取っていく場を作っていく。

3)女子部の教育 女子部校長 佐藤先生



今日は女子部のPBL(教室の机・椅子を更新するプロジェクト=80年使える机・椅子を考える)の実践例について説明。

机と椅子を更新に当たり、池袋から移転して80年になるが、当時から使っている机、椅子があった。そこで新しく作る机、椅子も80年使えるものにしようということになる。

2011年…教室の机と椅子を更新することに

2012年…自然に恵まれた自由学園で使用し、勉強にふさわしい家具を考えるプロジェクトチームが発足

机と椅子の構造、製造過程を学ぶ

2015年…生徒たちが考えたプロトタイプが完成

家具は広葉樹(堅い木)で作られる。

業者の人からロシアのナラ材(オーク)を勧められる。

ロシアの木工メーカーから輸入されているとのこと。

輸入されている製品が認証されているのかということを生徒たちは環境問題の関連で学習していた。

その製品は違法伐採や北朝鮮の人たちの違法労働の可能性がある。

出所のわからない木を使うのはどうかとなり、それはやめることに。

国産材にしようとしていたところ、広葉樹の流通にかかわる岐阜県のグループとつながる。

その人たちから机や椅子の作り方も学ぶ。木工職人の人からは、80年持つものを作るのは大変と言われる。長く持つための工夫とメンテナンスができるようにする。



現地で伐採後の搬出を手伝う。

木も1種類ではなくさまざまな種類の広葉樹を製材する。製材すると種類により木の表情が違う。

伐採した森に広葉樹の苗を植え直す。80年後にまた机、椅子が作れるように。

苗をそのまま植えると、広葉樹は生長が遅いのと、美味しいので動物に食べられてしまう。

苗を持ち帰り、ある程度大きくなるまで学校で育ててから戻すことに。

伐採—加工—使用—植え直すという木の循環を学ぶ。

1年に100台ずつ作り、3年で300台作成する。

机、椅子を作るという取り組みの中で、物事のしくみ、問題の背景、本質を考える。

生活即教育につながる。

2017年に竣工した「みらい館」は70年前に男子部の生徒、最高学府の学生が植え、育ててきた木を使って作られた。

男子部では入学時に6年間使う机と椅子を自分で作る。その材料も植林地の木材を利用している。

最高学部ではネパールでの植林活動も行っている。

4) 入試結果、進路報告 学園長補佐 増澤先生

1. 2018年中学入試

男子 女子

募集人数 30 40

受験者数 34 37

合格者数 26 29

附属小から男女それぞれ7～8名が進学。

在籍者数 男子 女子

中1 32 37

中2 30 33

中3 30 36

高1 37 48

高2 36 50

高3 33 36

2. 2019年中学入試

試験日

男子部 2/1 2/4 3/1

女子部 2/1 2/4 2/10 3/1

募集人数

男子部 30名

女子部 40名

試験科目

男子部 国語、算数、集団考査(体操、グループ製作)

女子部 国語、算数、集団考査(実験・観察、体操、グループ製作)

面接:保護者面接…教育に対する理解(6~8分)

個人面接…基本的な生活習慣

実験:指示に従って操作をすることができるか。

観察:現象を理解できるか。

体操:一緒に体を動かすことができるか

グループ製作:創意工夫、協調性

3. 進路報告

男子部高等科

内部進学61%、外部進学31%。

女子部高等科

内部進学40%、外部進学60%

最高学部(大学部)からの大学院進学率は28.5%と全国平均の11%を上回る。

最高学部の就職内定率は有名大学にもまさる92.5%。また、新卒者の離職率は低く、最近3力年の平均で6.3%(新卒者の離職率は厚労省の調べでは32.2%)。

それは、在学中に皆をまとめる力がついているから。

5)理事長挨拶 村山先生

幼稚部から高等部まで15年間在籍。

ピアノをやるために外部進学。子どもは二人とも大学部まで自由学園に。

37年間外部の学校に勤務。

自由学園にはチャペルはあるが牧師はいない。

学校は日常の細かいことをしっかりやるのが大事。

今の社会に役立つだけでなく、その先の社会に自分がどう役立つのかを意識して欲しい。

自由学園の生徒は表面上の受験学力だけでなく、真の学力がついている。

その根底にあるのはキリスト教の人間観。

3.11により日本の社会は分断されてしまった。そこからよい社会をどう作るかが問われている。

<https://www.jiyu.ac.jp/>

公開模試情報

四谷大塚模試7月 合不合判定(7月9日)

前年比3.5%の増加。男子は1.7%の増加。女子は5.6%の増加。

		13年	14年	15年	16年	17年	18年
男子	4科	7309	6700	6888	6969	7047	7139
	2科	477	432	450	389	411	446
女子	4科	6495	6037	6032	6023	5991	6323
	2科	332	363	414	362	394	419
合計		14613	13532	13784	13743	13843	14327

7月三模試合計

前年比3.9%の増加。男子は3.8%の増加、女子は4.4%の増加。

		13年	14年	15年	16年	17年	18年
男子	4科	17311	16549	16784	16832	17129	17517
	2科	1510	1525	1555	1462	1533	1793
女子	4科	17307	16427	16378	16678	16354	17029
	2科	1305	1444	1688	1663	1761	1890
総合計		37433	35945	36495	36635	36777	38229

4月段階での三模試の受験者の前年比は5.1%の増加。男子は3.5%の増加。女子は6.6%の増加だった。